

# 令和4年度社会福祉法人鶴心会事業報告書

特別養護老人ホームトータス  
トータスデイサービスセンター  
トータス訪問介護ステーション  
デイサービスセンター鶴舞温泉げんき館  
トータス居宅介護支援事業所  
市原市地域包括支援センタートータス

## 1. 全体総括

令和4年度は事業目標として、喫緊の課題となっているコロナ禍における稼働率の回復と、利用者を直接支える現場職員の充実を旨とした。しかしながら、結果としては不首尾な1年となってしまった。

まずは稼働率について考察すると、どの部門も引き続きコロナ禍の影響を少なからず受けてはいるものの、外にも何点かの要因に辿り着く。特養入所にあつては、平成27年より利用条件が改められ、入所基準のハードルが要介護3以上に上がったことで、いわゆる供給の間口が狭くなったことに加え、重度者の割合が非常に高くなり、入所後数か月を経ずして亡くなられ、退所されるケースが増加し、常に空床を呈している現状にある。ちなみにここ数年は、ほとんどの利用者・家族が施設での看取りを希望されている。このようなことで、最近の特養施設は数年前までの形態とはその態様に変化しつつあり、とりわけユニット型においてこの傾向が強い。一時は入所待機者が100名以上に上った時期もあったが、今では逆に、関係方面への営業を掛けなければならないほどに様変わりをしているのである。もう一つの要因として考えられるのが、利用者の経済的な理由である。当地域は大部分が中山間地域に属しており、高齢者は農産林業等の1次産業に従事していた方が多く、現在は老々世帯や単独世帯が一段と増加しており、たとえ施設入所が望ましいケースであっても、料金面でのネックが現出している。以上のとおり、特養入所に関わる稼働率低下の要因を取り出してみたが、本事業は法人運営の中核を担い、とりわけ収入面においての大宗を成す部門であり、その重要性を再認識し、一刻も早く平常時の姿を取り戻さなくてはならない。

次いでショートステイ、デイサービスについてであるが、双方とも別様の実績表に示すとおり、前年度に引き続き低迷した。ショートステイにあつては、事業の性質上、コロナ感染に特段の配慮が必要とされたことから、利用に際しての条件を厳しくせざるをえず、この制限によることが一番大きな原因と思われる。また、潜在的な課題として、ショートステイ事業のパイが大き過ぎるきらいがあり、需給のアンバランスが認められる。このことについてはすでに、ショートステイ定員を10名減員して入所定員を10名増員する定員変更を行政に要望している。次いでデイサービスであるが、従前は法人の中にあつて収支面の優等生的部門となっていたが、ここへ来て低落傾向が続いている。その原因は何点かあると思うが、まずは、この事業への参入者が周辺地域に多数存在するようになり、利用者が分散したものである。このことは、当法人の全事業についても言えることであるが、中でもデイサービス事業は一般法人でも事業化が容易に行えることで、現行状況に至ったと推測するものである。この厳しい現況を打開するためには、相談員の充実を図るとともに、合わせて担当職員の一層のスキルアップに期さねばならない。

次にげんき館であるが、コロナ禍の直接的影響を一番強く受けている事業所と言える。コロナ禍に入る前の稼働率は、その直前においては80%に達していたが、ここ数年は60%前後までに下がっている。げんき館利用者は介護度の低い方が大半であり、比較的クリアな方が多く、それらの方々は社会の動向に敏感であつて、危険察知力も高い。したがって、このたびのコロナ禍に対しては、自主的に利用を控えられたため、このような結果となって表れているものと思われる。げんき館の稼働率はコロナ禍如何によるところが非常に大きく、コロナが収束へ向かえば、同時的に回復するものと思われ、その事態が一刻も早く訪れるよう願っている。

さて、2点目の目標とした現場職員の充実についてであるが、中でも介護職員の人手不足は、業界全体の問題としてこのコロナ禍においてもしきりに取り上げられている。ご多分に漏れず当方においても、この問題に苦戦を強いられているのが現状である。本年度の態勢にあつては、現有職員をもってして通常ローテーションで始動できたのであるが、年度後半に入り、体調不良者の出現と予測し得ない退職者

も加わり、ぎりぎりの工夫をもっての対応となっている。この人手不足の解消策としての即効的な妙案はなかなか浮かばないが、いろいろな手段を通じて粘り強く訴えるとともに、新たな視点での方策を見出すことに努めなければならない。

以上、法人の根幹に関わる課題であって、なおかつ先送りできない現下の課題を事業部門ごとに概略的総括として考察を行ったところである。冒頭部で述べたように、なぜ目標を達成できなかったのかという点については、その要因をそれぞれ何点かを掲げたが、総じて旗振りをはじめ、そして実行役も積極性に欠けたことが最たることではなかったかと反省するところである。

## 2. 令和4年度の主な事業

4月	4日	お花見（特養各フロア）
	9、11日	お花見（げんき館）
	10～12日	PCR検査
	10日	通いの場 银杏の会（地域包括）
	13日	自家用電気工作物試験（特養全館停電）
	15日	介護職員健康診断
	20日	通いの場 レディース会（地域包括）
	25～30日	西山庭園画廊見学（げんき館）
	27日	通いの場 西国吉（地域包括）
5月	4～5日	端午の節句（げんき館）
	10日	通いの場 すみれ会（地域包括）
	10日	通いの場 银杏の会（地域包括）
	13日	PCR検査
	16日	特定建築物等定期報告調査
	17日	春のお茶会
	18日	通いの場 レディース会（地域包括）
	20日	宿滝老人会（地域包括）
	24～26日	PCR検査
	25日	通いの場 西国吉（地域包括）
	27日	根古屋老人会（地域包括）
	30日	非常用自家発電機負荷試験 有限会社テクノディーゼル
		特養トータス家族会総会（書面開催）
6月	3～4日	バスハイク（特養2F・4F）
	7日	鶴心会監事監査
	8日	理事会
	10日	バスハイク（特養3F）
	10日	通いの場 银杏の会（地域包括）
	15日	鶴舞看護専門学校学生施設見学（地域包括）
	15日	皆吉茶話会（地域包括）
	15日	通いの場 レディース会（地域包括）

	17日	評議員会 書面決議
	20～22日	PCR検査
	22～23日	誕生会（トータスデイ）
	28日	特養3Fベランダ修繕 株式会社アスク
	28日	オンライン内部研修「不適切ケアについて」
	30日	貯水槽清掃消毒点検 株式会社帝設備
	30～7月6日	紫陽花見学 バスハイク（げんき館）
7月	4日	参議院議員選挙不在者投票
	7日	夏季賞与
	7～8日	七夕（げんき館）
	10日	いきいきふれあいサロン（地域包括）
	10日	通いの場 銀杏の会（地域包括）
	11～13日	PCR検査
	12日	創業祭
	12日	通いの場 すみれ会（地域包括）
	14、28日	新型コロナワクチン4回目接種（特養利用者）
	15日	里見地区小域福祉ネットワーク健康祭り（地域包括）
	16日	オンライン内部研修「不適切ケアについて②」
	19、26日	新型コロナワクチン4回目接種（職員）
	20日	防災設備点検 有限会社誠和防災
	20日	通いの場 レディース会（地域包括）
	22日	防災訓練
	25～29日	PCR検査
	27日	合併浄化槽清掃 株式会社ナンソーテック
	27日	通いの場 西国吉（地域包括）
8月	1日	オンライン内部研修「食中毒対策と注意点」
	8～12日	PCR検査
	9、18日	新型コロナワクチン4回目接種（職員）
	22～26日	PCR検査
	23～24日	夏祭り（げんき館）
	24日	オンライン内部研修「介護職のリスクマネジメント」
	28日	大蔵屋団地老人会（地域包括）
	31日	非常用発電機修繕工事 有限会社テクノディーゼル
9月	5～9日	PCR検査
	6、13日	新型コロナワクチン4回目接種（職員）
	10日	銀杏の会 認知症サポーター養成講座（地域包括）
	13日	通いの場 すみれ会（地域包括）
	15日	牛久地区小域福祉ネットワーク茶話会（地域包括）
	15～21日	敬老会（げんき館）

	16日	いきいきふれあいサロン（地域包括）
	19日	敬老会
	20～22日	PCR検査
	20日	宿滝老人会（地域包括）
	21日	非常照明バッテリー交換工事・消火器交換工事 有限会社誠和防災
	24日	オンライン内部研修「身体拘束廃止」
	28日	通いの場 西国吉（地域包括）
10月	4日	県指導監査（特養・トータスデイ・げんき館）
	4、12日	誕生会（トータスデイ）
	7日	職員健康診断
	8日	運動会（げんき館）
	10日	通いの場 銀杏の会（地域包括）
	11～14日	PCR検査
	11日	加茂地区民生委員児童委員協議会（地域包括）
	11日	在宅介護者教室（地域包括）
	12日	運動会・CTG花火大会
	16日	福祉の案内講座（地域包括）
	18日	安心訪問員交流会（地域包括）
	19日	通いの場 レディース会（地域包括）
	23日	西国吉小域福祉ネットワーク茶話会（地域包括）
	24～28日	PCR検査
	24日	オンライン内部研修「感染症対策」
	25日	外部田さくらの会（地域包括）
	26日	スプリンクラーフット弁工事 有限会社誠和防災
	26日	通いの場 西国吉（地域包括）
	31日	ハロウィン（げんき館）
11月	1日	スプリンクラーポンプ不具合調整 有限会社誠和防災
	2、22日	誕生会（トータスデイ）
	8日	通いの場 すみれ会（地域包括）
	10日	通いの場 銀杏の会（地域包括）
	13日	いきいきふれあいサロン（地域包括）
	15、22日	インフルエンザ予防接種（職員）
	16日	通いの場 レディース会（地域包括）
	16～17日	紅葉狩り（げんき館）
	17日	根古屋茶話会（地域包括）
	19日	西山庭園お茶会
	21日	からだを動かす交流会行事
	21日	宿滝老人会（地域包括）
	23日	オンライン内部研修「リスクマネジメント」

	26日	合併浄化槽清掃 株式会社ナンソーテック
12月	1、8日	新型コロナワクチン（オミクロン対応）5回目接種（特養利用者・職員）
	3日	牛久地区小域福祉ネットワークふれあいサロン（地域包括）
	8日	認知症家族の会（地域包括）
	9日	冬季賞与
	10日	通いの場 银杏の会（地域包括）
	11日	福祉の案内講座 平三地区（地域包括）
	13、20日	新型コロナワクチン（オミクロン対応）5回目接種（職員）
	15日	オンライン防災訓練
	16日	市原看護専門学校認知症サポーター養成講座（地域包括）
	19～24日	クリスマス（げんき館）
	20日	市原市総合防災訓練参加（福祉避難所担当）
	22～23日	誕生会・クリスマス会（トータスデイ）
	22日	なんそう薬局認知症サポーター養成講座（地域包括）
	25日	定期抗原定性検査（週2回）開始（特養・トータスデイ・げんき館・訪問）
	26日	特養トータス家族会 クリスマスプレゼント配布
	28日	餅つきの会
	28日	オンライン内部研修「高齢者虐待防止」
	30日	仕事納め式
1月	4日	仕事始め式・健康祈願式 高滝神社様
	6、31日	誕生会（トータスデイ）
	11～17日	初詣 高滝神社（げんき館）
	24日	オンライン内部研修「身体拘束廃止②」
	25～26日	初詣 高滝神社（トータスデイ）
	25日	通いの場 西国吉（地域包括）
	25日	通いの場 レディース会（地域包括）
	27日	在宅介護者教室（地域包括）
2月	2～3日	豆まき（トータスデイ）
	3日	節分（げんき館）
	6日	誕生会（トータスデイ）
	8日	防災設備点検 有限会社誠和防災
	9日	加茂支部更生保護女性会（地域包括）
	10日	通いの場 银杏の会（地域包括）
	14日	バレンタイン（げんき館）
	15日	通いの場 レディース会（地域包括）
	19日	通いの場 大蔵屋団地（地域包括）
	20日	オンライン内部研修「認知症ケアについて」
3月	3日	ひな祭り（げんき館）
	9、17日	誕生会（トータスデイ）

	10日	通いの場 銀杏の会 (地域包括)
	14日	通いの場 すみれ会 (地域包括)
	14日	ホワイトデー (げんき館)
	15日	通いの場 レディース会 (地域包括)
	16日	理事会
	16日	オンライン内部研修「誤嚥性肺炎について」
	17日	評議員会 書面決議
	20日	宿滝老人会 (地域包括)
	22日	通いの場 西国吉 (地域包括)
	24日	特別養護老人ホームトータス医務室視察 市原保健所
	25～31日	河津桜見学 バスハイク (げんき館)
	27日	定期抗原定性検査 (週2回) 終了 (特養・トータスデイ・げんき館・訪問)
	28日	防災訓練
	31日	合併浄化槽清掃 株式会社ナンソーテック

### 3. 令和4年度主な職員会議および研修等

#### 1) 会議

- ・CTG連絡会議 月1回
- ・幹部会議 月1回
- ・管理者会議 月1回
- ・各委員会会議 月1回 or 隔月1回
- ・行事会議 随時

#### 2) 内部研修会 (オンライン)

研修日	テーマ
6月	不適切ケアについて
7月	不適切ケアについて②
8月	食中毒対策と注意点
	介護職のリスクマネジメント
9月	身体拘束廃止
10月	感染症対策
11月	リスクマネジメント
12月	高齢者虐待防止
1月	身体拘束廃止②
2月	認知症ケアについて
3月	誤嚥性肺炎について

#### 4. 特別養護老人ホームトータス

令和4年度の特養施設運営は、前年度に引き続き、新型コロナウイルスへの対応に迫られた1年であった。施設内クラスターの予防を第一に考え、具体的対策として、職員に対しては、マスク着用、手洗い・手消毒、3密の回避、手の触れる部分の消毒・除菌、換気の徹底、頻回な検温の実施、体調不良時の報告厳格化、出張や外部研修参加の見送り、オンライン内部研修会の導入、在宅勤務の実施等を求めた。ご利用者・ご家族に対しては、新規受入基準の厳格化、利用前の抗原検査の実施、面会制限（=オンライン面会の実施）、施設全体行事の中止等をお願いさせていただいた。他方、全職員を対象に毎月のPCR検査及び抗原検査を実施し、新型コロナワクチンについては、特養入所利用者及び全職員を対象に、5回目の接種を完了させることができた。

短期入所については、ご利用者の入退所から施設内にウイルスが持ち込まれ、施設内クラスターに発展するリスクが高く、長期利用の方を中心に受け入れをさせていただいたが、年度後半には単発利用の受け入れを再開し、稼働率の向上に一定の成果が得られた。

ここ数年、新型コロナウイルスの影響のほかに、入所については、ご利用者の重度化進行による利用回転率の上昇があり、これに市内高齢者施設の整備拡充も相まって、新規ご利用者の獲得に大きな困難が生じている。短期入所についても、入所への移行や入院等、稼働率を大きく下げる要因を排除しきれず、また、高稼働率維持には、定員の7割程度の長期利用者の確保が必要となるが、長期利用は利用料も高額となるため、ご利用者の安定的な獲得に苦戦を強いられている。

以上の理由から、前年度と同様に年間稼働率は低迷し、入所については86%（前年度比-6%）、短期入所については47%（前年度比+11%）に留まることとなった。令和5年度については、新型コロナウイルスの動向を見極めながら効果的な感染対策を模索しつつ、稼働率の立て直しを第一の目標に掲げ、早期の通常営業の回復に取り組んでいく。

稼働状況 入所 定員：80名

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30
延利用者数（外泊を含めない）	2060	2170	2069	2178	2090	2001	2069	2081	2300	2241	1849	2124	2103
要介護1	16	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	31	23	0	43	8
要介護3	760	765	717	743	792	768	796	788	839	762	628	697	755
要介護4	624	731	689	788	711	689	653	697	779	757	593	678	699
要介護5	660	674	660	647	587	544	620	596	651	699	628	706	639
入院による延空床数	25	3	28	60	82	43	14	9	34	48	26	27	33
新規入所者数	4	2	4	2	1	3	2	6	5	0	1	6	3
退所者数	4	1	2	4	2	5	1	2	2	6	5	0	3
稼働率	86%	88%	86%	88%	84%	83%	83%	87%	93%	90%	83%	86%	86%

稼働状況 短期入所 定員：20名

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
営業日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	30
延利用者数	213	240	267	277	299	342	384	337	266	254	255	309	287
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	25	0	0	0	0	0	0	0	0	26	4
要介護1	4	12	5	13	31	10	10	31	10	11	10	12	13
要介護2	15	9	15	27	27	7	0	0	0	11	28	0	12
要介護3	98	105	100	124	129	197	230	189	134	105	112	149	139
要介護4	66	76	82	65	67	84	113	84	88	96	77	60	80
要介護5	30	38	40	48	45	44	31	33	34	31	28	62	39
新規利用者数	6	3	3	2	1	1	0	2	0	2	1	3	2
利用終了者数	2	1	2	1	1	1	2	1	4	0	0	2	1
稼働率	36%	39%	45%	45%	48%	57%	62%	56%	43%	41%	46%	50%	47%

稼働状況 入所・短期入所合計

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
稼働率	76%	78%	78%	79%	77%	78%	79%	81%	83%	81%	75%	79%	79%

## 5. トータスデイサービスセンター

### 1) 感染症対応

コロナ禍となり3年が経過したが、今年度も感染予防対策に重きを置く1年間であった。昨年同様、定時の換気や消毒清掃をはじめ、ご利用者へはマスクの常時着用をお願いし、朝送迎時の検温により発熱が確認された方はご利用を控えていただいた。職員についても同様に日に3回の検温を実施し、風邪症状や疑いがあれば出勤を控えるようにした。対策を行いつつも、ご利用者やご家族、職員の感染が確認されたが、発生からは過去の事例や経験を活かし、感染拡大を最小限に抑え集団感染による休業をすることなく営業継続ができた。いずれの感染者も重症化することなく大事に至ることなく収束した。

### 2) 稼働状況

1日の平均利用人数は14.4/40人、年間平均稼働率は36%と大きく減少した。年間で17名の新規利用者を得た一方で22名の利用終了もあった。稼働率低下の理由としてコロナの影響の他に、ご利用者の状態の低下による入所や入院、他界での利用終了、体調不良による受診や欠席、ショートステイの併用による利用回数減が目立った。新規利用者の受入れに当たっては安全面で慎重にならざるを得ず、ワクチン接種等の利用開始までの条件が整うのに時間を要した。

### 3) サービス

サービス面においては、認知症の進行による在宅での生活の悩みが多いことから、認知症進行防止に注力した。文字合わせや漢字読み取り、計算問題、リズム体操等の思考力や記憶力、指先を使用するようなレクリエーションの充実、コミュニケーション、傾聴、会話を積極的に行った。直ぐに効果は表れないが、繰り返し実施することにより多少なりとも効果を実感できている。引き続きコロナ禍により、行事は従来のような集団の大規模で実施することは見送ったが、小規模のイベントを日々のご利用の中で提供することができ、好評を得ることができた。

【年間稼働状況表】定員40名（つばめ20名 うぐいす20名）

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
営業日数	21	22	22	21	23	22	21	22	22	20	20	23	22
延利用者数	349	370	375	316	320	307	293	302	274	228	271	350	313
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	4	5	1
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	94	109	96	90	79	64	87	88	88	71	89	116	89
要介護2	97	112	133	120	122	128	114	121	106	96	105	147	117
要介護3	103	89	94	69	66	73	53	46	48	37	39	33	63
要介護4	41	50	44	31	45	35	39	47	32	23	34	49	39
要介護5	14	10	8	6	8	7	0	0	0	0	0	0	4
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
登録者数	48	46	46	44	43	42	44	42	38	39	41	39	43
新規利用者数	4	2	1	0	0	0	4	0	1	2	2	1	1
終了者数	4	1	2	1	1	2	2	5	1	0	3	0	2
稼働率	42%	42%	43%	38%	35%	35%	35%	34%	31%	29%	34%	38%	36%

【資料】

年間平均介護度（前年度比）

要支援 1	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5
0.7% (+0.7)	28.5% (-6.7)	39.5% (+13.7)	20.0% (+1.6)	9.5% (-6.5)	1.8% (-2.7)

月別平均介護度

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2.4	2.3	2.3	2.2	2.3	2.3	2.2	2.2	2.1	2.0	2.0	2.0

年間平均介護度 2.2 前年度比較 0.1 ポイント下降

月別平均利用者数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
16.6	16.8	17.0	15.0	13.9	14.0	14.0	13.7	12.5	10.4	13.6	15.2

年間平均 14.4 人（前年度 16.1 人）

年齢構成

65～69 歳	70～74 歳	75～79 歳	80～84 歳	85～89 歳	90 歳以上
3.7%	3.7%	9.3%	11.1%	18.5%	53.7%

男女構成

	合計
男性	33.3%
女性	66.7%

## 6. トータス訪問介護ステーション

### 1) 事業内容

#### ①指定訪問介護（指定介護予防訪問介護相当サービス）事業

身体介護・生活援助・相談・助言

#### ②地域との連携

関係市町村、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、他居宅サービス事業所等との連携

#### ③サービス提供

ご利用者の希望、困難となった事（身体的、日常生活に必要な家事等）に関する支援と介助を訪問介護計画に沿ったサービスの実施

#### ④訪問ミーティング

ご利用者に関する情報共有と訪問介護計画に沿ったサービスについての共通理解等を目的として、月1回の会議を開催して確実な申し送りを実施

### 2) 総括

各自が訪問介護員としての自覚、知識・技術の向上を心がけ、ご利用者の状況や状態、相談や訴え等に対し、正確に理解、把握、観察、対応ができるよう取り組んだ。ご利用者に変化が見られた場合は、直ちに関係機関等に報告、連絡、相談を実施して連携を図り、最善の対応ができるよう努めた。

新型コロナウイルス拡大防止の為の外部研修を受け、職員、ご利用者・ご家族の感染予防対策に努めた。出勤制限（職員・家族の体調不良、子供の学級閉鎖等）による人手不足もあり、稼働率の向上は難しい状況であった。その状況下で可能な限りの新規受入れを行い、延訪問回数100回を下回らないことを目標に努めた。ご利用者によっては、時間変更、曜日変更、訪問回数の追加等の要望があったが、柔軟に対応することで、今までと変わりなくご利用者・ご家族との信頼関係を構築することができた。また、現体制では対応困難な時間帯であったり、認知症状の進行が見受けられるご利用者の相談や利用が増加しており、対応の可否を慎重に検討し、可能な限り受入れをするよう努めた。やむを得ず対応が困難な場合は、丁寧に事情を説明して他事業所へと繋げることにより、ケアマネジャーやご家族との信頼関係を崩すことなく対応することができた。

サービス提供の際には、常に傾聴を心がけて不安を軽減し、不穏な感情を和らげるよう努め、ご利用者の心身の状態に合わせた丁寧な対応を行った。ご利用者の少しの変化を見逃さず、関係機関に報告し情報共有をすることで、早期に対応することができた。また、職員間で課題を共有し、臨機応変に対応できるよう、利用前調査の際にはヘルパーを同行させるよう努めた。カンファレンスは決められた曜日に全員で朝の時間帯に短時間で実施した。個別にも各自の時間に合わせて実施し、各自の意見や対応を再確認することができた。要改善事項があれば指導及び研修を行い、それらがサービス提供時に活かされているかを確認し合い、サービスの質の改善と向上に繋げた。

以上の取り組みにより、コロナ禍の不安定な状況でも信頼関係を維持することができ、目標は概ね達成できたと評価している。今後も、ご利用者一人ひとりの生活環境や状態に合わせて関係機関との連携を密に行い、小規模であるが故の長所を活かした丁寧なサービスを実施していく。

年間稼働状況

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
延訪問回数	156	154	153	125	111	105	145	151	143	113	126	137	135	
登録者数	23	24	23	23	23	21	24	25	23	23	24	24	23	
内新規契約者	2	2	0	0	0	0	4	2	1	0	1	1	1	
内終了者	1	1	1	0	1	1	1	2	1	0	0	1	1	
内 訳	要支援 1	4	9	13	11	13	8	16	16	18	13	16	20	13
	要支援 2	22	26	13	10	9	11	14	27	20	15	21	23	18
	要介護 1	59	57	65	60	42	44	63	51	48	40	44	48	52
	要介護 2	34	28	29	28	31	27	35	26	24	18	22	32	28
	要介護 3	37	34	33	16	16	15	17	31	33	27	23	14	25
	要介護 4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 7. デイサービスセンター鶴舞温泉げんき館

引き続き新型コロナウイルスによる影響を受けた1年であったため、感染対策の実施に加え、感染リスクが高まるマスクを外す時間帯、すなわち入浴、昼食、おやつについて、ご利用者一人ひとりの実施時間や着席場所を正確に記録することにより、複数の感染者が発生した場合の感染ルートの確認ができるような取り組みを強化した。

サービス内容では、外食会や喫茶会等の飲食に関わる外出行事の再開はできなかったが、紫陽花見学や河津桜見学のバスハイクや人気のカラオケ等も感染予防に努めるかたちで再開することができ、ご利用者からたくさんの喜びの声や笑顔をいただくことができた。

令和4年度の年間平均稼働率は、令和3年度同様に新型コロナウイルスによる新規受入基準の厳格化、感染予防による営業中止や利用自粛などにより、58%と低迷した。

月	行事实績	ボランティア実績	事務業務実績
4月	お花見（ゲーム形式） 西山画廊見学	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
5月	端午の節句 （ゲーム形式）	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
6月	バスハイク（紫陽花）	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
7月	七夕（ゲーム形式）	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
8月	夏祭り	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
9月	敬老会	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
10月	運動会 ハロウィン	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
11月	紅葉（ゲーム形式）	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
12月	クリスマス会	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
1月	初詣	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
2月	節分（ゲーム形式）	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務
3月	ひな祭 バスハイク（河津桜）	※新型コロナウイルス感染予防の為中止	設備点検 車両点検 相談業務 請求業務

稼働状況 定員：72名

令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均
営業日数	26	26	26	26	27	26	26	26	23	24	24	27	26
延利用者数	1162	1150	1153	1150	1105	1112	1150	1068	895	893	982	1085	1075
要支援1	196	209	187	192	182	165	180	167	130	128	130	149	168
要支援2	253	262	265	257	278	292	311	285	245	237	261	304	271
要介護1	445	428	429	426	382	360	384	357	289	315	370	394	382
要介護2	162	157	184	191	177	214	196	198	175	150	159	160	177
要介護3	93	81	75	74	74	76	71	55	48	55	54	69	69
要介護4	9	9	8	4	8	0	0	0	0	0	0	0	3
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合事業	453	475	457	455	464	462	499	458	383	373	399	462	445
その他	4	4	5	6	4	5	8	6	8	8	8	9	6
登録者数	209	207	207	210	207	207	207	209	197	196	195	192	204
新規利用者数	1	3	1	7	2	2	4	6	4	0	2	2	3
終了者数	3	2	2	3	5	2	7	1	14	1	8	2	4
稼働率	62%	61%	62%	61%	57%	59%	61%	57%	54%	52%	57%	56%	58%

## 8. トータス居宅介護支援事業所

### 1) 総括

疾病に対する予防的支援の立場からご利用者に関わり、ご利用者が住み慣れた地域でできるだけ長く過ごせるよう、能力に合わせた目標を設定して自立支援を心がけた。看取り期や寝たきりのご利用者については、医師や看護師等の医療職との連携を図りながら病状に合わせた支援を行い、ご利用者の安心とご家族の介護負担の軽減に努めた。新型コロナの感染症対策下におけるご利用者の心身の状態やご家族の負担を丁寧に聞き取りながら、両者の健康管理に十分留意した。

新型コロナの影響によりオンライン研修が一般化し、事業所内でも受講できることから、積極的な参加を心がけた。認知症や各疾患についての研修も増加し、研修内容を事業所内会議で共有し、職員全員の知識・技術の向上に努めた。

新規相談においては、独居や高齢者世帯のケースが増加傾向にあり、ご利用者だけでなくご家族への支援が必要なケースも多くある。今後もご利用者が住み慣れた地域でできるだけ長く過ごせるよう、地域包括支援センターや地域の関係機関等との連携を図りながら支援を行っていく。

### 2) 職員体制

- (1) 管理者 1名 兼務 (主任介護支援専門員)  
 (2) 介護支援専門員 5名 専任5名 (内、主任介護支援専門員3名)  
 合計 6名

### 3) 契約状況一覧

令和4年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	
要介護	月初契約数	162	164	165	166	169	167	169	175	172	163	160	160	166	
	新規契約数	7	8	3	6	5	5	7	5	3	8	10	4	6	
	契約終了数	5	7	2	3	7	3	1	8	12	11	10	2	6	
	月末契約数	164	165	166	169	167	169	175	172	163	160	160	162	166	
	請求数	154	156	159	160	156	165	162	169	157	152	156	162	159	
	内訳	要介護1	46	49	47	52	47	49	51	54	51	50	61	59	51
		要介護2	46	48	51	51	51	55	50	52	49	45	48	52	50
		要介護3	41	39	40	37	38	40	39	39	34	31	27	33	37
		要介護4	13	14	16	15	14	14	13	15	17	20	14	13	15
		要介護5	8	6	5	5	6	7	9	9	6	6	6	5	7
要支援	月初契約数	20	22	22	22	22	22	22	22	24	24	20	16	22	
	新規契約数	2	0	1	0	1	0	0	2	1	0	1	2	1	
	契約終了数	0	0	1	0	1	0	0	0	1	4	5	0	1	
	月末契約数	22	22	22	22	22	22	22	24	24	20	16	18	21	
	請求数	21	22	22	22	21	20	19	13	23	19	16	18	20	
	内訳	要支援1	9	10	10	11	10	9	10	10	9	8	6	7	9
		要支援2	12	12	12	11	11	11	9	23	14	11	10	11	12

※請求数 (月遅れ請求含む)

#### 4) 居宅会議開催状況

月	日	会議内容
R4.4	8	事例検討：独居、できなくなったことが増えているが、本人の現状を理解できない家族の対応について
	13	事例検討：食事制限や運動への意欲もなく、他人の助言は受けない利用者の退院後の体重増加の予防について
	21	研修報告：『生活の場で行う在宅褥瘡ケア 在宅褥瘡におけるケアマネジャーの役割』
	27	事例検討：認知症の利用者への家族の対応について
5	6	事例検討：訪問介護のサービス内容以上の掃除の希望があり、サービス内容を利用者に理解してもらうには
	10	事例検討：精神疾患からの閉じこもり、横になっていることが多いので外出を視野に入れるための座位保持の支援について
	18	事例検討：歩行不安定、通所での入浴を提案も拒否の強い利用者への対応について
	25	事例検討：妻は全身エリテマトーデス、夫はパーキンソン病の2人世帯の訪問介護の利用について
6	1	研修報告：『ケアマネから始まる褥瘡改革』
	7	事例検討：夫婦で北九州から転居して弟宅に同居したものの、ストレスが多い方の今後の対応について
	14	事例検討：認知症の利用者を難病の長男が介護しており負担が大きい。ショートステイの利用を本人に納得させる支援について
	23	介護サービス紹介：フレイル予防に特化した半日デイサービス
	29	研修報告：『認知症介護連携カンファレンス』
	7	研修報告：『知ってほしい！市原福祉ネットのこと』 市原市の地域リハビリテーションを考える会
	13	事例検討：93歳圧迫骨折、再骨折の可能性があり、医師から寝具利用の指示があるが、頑なに拒否している方への説得について
	21	他法人との事例検討：『認知症の始まり？』
	26	事例検討：デイケアとデイサービスを利用している利用者の今後の利用について
	8	研修報告：『老後の住まいとお金の話』
	17	事例検討：包括より紹介、家族はサービス利用を希望しているが、本人の拒否が強く利用に至らない方の今後の対応について
	23	事例検討：サービス利用に消極的な高齢者の支援
	31	・他市の実施指導における主な指導事例について ・通院時情報連携加算について
	9	研修報告：『記載例で学ぶ居宅介護支援経過 ～書くべきこと・書いてはいけないこと～』
	16	事例検討：認知症の進行を受け止めきれない息子への支援について
	21	研修報告：『～訪問歯科診療の活用方法～ 食べたいを支えたい』
	28	研修報告：『実践力向上 高齢者のお口の機能と口腔ケア 歯科医師との効果的な連携の仕方』
	10	研修報告：『共生社会の実現について 障害分野との連携』
	12	研修報告：『適切なケアマネジメントについて』
	19	事例検討：認知症状が進行している利用者が、これまでできていたことを維持しながら、自宅での生活を続けていくための支援について

	26	事例検討：夫婦で北九州から転居し、弟宅に同居しながら施設見学をするも、入所の決心ができないケースについて
11	2	研修報告：『病院から地域へつなげるために～心不全看護を担う看護師の役割』
	9	事例検討：独居、入所中は問題がなかったが、在宅では頑固であり、介護サービスを拒否している利用者の支援について
	18	事例検討：慢性腎不全により透析を受けながら、物忘れも見られる利用者の対応について
	22	事例検討：交通量の多い道の横断を心配し、畑仕事を止めさせようとする息子への対応について
	29	介護サービス紹介：デイサービス、サービス付高齢者住宅
12	6	研修報告：『床ずれについて』
	16	事例検討：独居、人との関わりが苦手な心不全の方の対応について
	20	事例検討：認知症の夫と理解力のない妻の対応について
	27	研修報告：『レビー小体型認知症について』
R5.1	12	事例検討：若年性アルツハイマー型認知症の利用者の支援について
	19	アセスメント：低栄養に気づくための視点
	25	介護サービス紹介：重度訪問介護について
2	2	事例検討：認知症の進行と自己主張の強い利用者の対応
	8	事例検討：計画を立てても利用者がサービスを減らしていく事例について 研修報告：『パーキンソン病と認知機能障害』
	22	研修報告：『事例から学ぶ成年後見制度』
3	1	介護サービス紹介：在宅介護向け電動ベッド
	8	研修報告：『薬剤師を活用した在宅医療の在り方について』
	16	事例検討：夫が精神科病院に入院後、意欲のない利用者の対応について
	23	研修報告：『夕方の不穏時の対応と対策』
	29	介護予防ケアマネジメント Q&A

## 5) 研修参加状況

月	日	研修名称
R4.6	17	訪問看護を利用するにあたっての連携上のポイント
	21	第1回 認知症介護連携カンファレンス
	22	利用者様やご家族の行動範囲や生活動作を広げる福祉用具
	24	知ってほしい！いちばら福祉ネットのこと
7	27	看取りについて
	30	記載例で学ぶ居宅介護支援経過
8	18	適切な業務を行うための居宅事業所におけるカスタマーハラスメント対策
	21	高齢者のお口の機能と口腔ケア
9	4	いまさら聞けない主任ケアマネの役割
	14	ケアマネ交流会
	16	訪問歯科診療の活用方法
	21	共生社会の実現について ～障がい分野との連携～

10	7	病院から地域につなげるために 心不全看護を担う看護師の役割
11	30	利用者家族との新しいコミュニケーションの取り方について
12	9	認知機能障害 基礎知識と薬物管理の注意点
	16	薬剤師を活用した在宅医療の在り方について
	16	良くある創傷、ケア方法を知ろう
		4/2～6/18 千葉県介護支援専門員更新研修
		10/10～12/21 千葉県主任介護支援専門員更新研修
R5.1	19	災害リスクマネジメント研修 感染症編
	15	事例から学ぶ成年後見制度
	21	夕方の不穏時への対応と対策～夕暮れ症候群について～

## 9. 市原市地域包括支援センタートータス

### 1) 総括

地域包括ケアシステム実現のため、相談対応だけでなく、通いの場への参加、南総・加茂地区における様々な会議等への出席、あるいは看護学生の受入れ等を行い、地域及びその関係機関との連携強化に努めてきた。

令和4年度より、地域包括支援センターに「地区福祉総合相談センター」が併設されたこともあり、前年度比で新規相談件数は約60件、相談延べ件数は約1500件増加している。相談内容に複合的課題が含まれるケースが多く、1件当たりの支援時間や支援回数が増加し、障がい等の関係機関との連携を図りながら対応してきた。

しかしながら、地区福祉総合相談センターの新規相談件数は約40件とさほど多くはなく、このことは、担当する南総西・東地区及び加茂地区の高齢化率の高さに加えて、地域住民への周知が広く行き渡っていないことも要因として考えられるため、地区福祉総合相談センターの役割や機能についての発信の強化が求められている。複合的課題を内包するケースへの対応や高齢者以外の総合相談対応を充実させていくためにも、障がい者や子ども分野等の様々な関係機関との連携の構築に努めていく。

### 2) 介護予防ケアマネジメント業務

#### ①介護予防ケアプラン作成及び介護予防ケアマネジメント件数(新規)

区分	センターで実施した件数	委託した件数	合計
介護予防ケアプラン	38	341	379
介護予防ケアマネジメント	22	176	198
(うち事業対象者)	1	0	1
合計	60	517	577

#### ②介護予防支援サービス利用等契約締結件数(当月新規)

区 分	事業対象者	要支援1	要支援2	合 計
センターで実施した件数	1	6	2	9
委託した件数	1	43	44	88
合 計	2	49	46	97

#### ③給付管理件数

区 分	総合事業			予防給付			総 計
	新 規	継 続	合 計	新 規	継 続	合 計	
センターで実施した件数	3	158	161	7	250	257	418
委託した件数	32	852	884	52	1510	1562	2446
合 計	35	1010	1045	59	1760	1819	2864

#### ④介護予防支援サービス利用等契約が終了した者の内訳

区 分	自 立	死 亡	転 出	要介護	その他	合 計
内 訳	3	9	0	66	11	89

### 3) 総合相談支援、権利擁護業務

#### ①相談受理件数（当該年度における新規の実件数）

区 分		合計
総合相談支援		580
権利擁護	成年後見制度に関すること	9
	高齢者虐待に関すること	3
	消費者被害の防止	1
	困難事例への対応	1
	その他（DV防止・対応）	0
合 計		594

#### ②相談内容と件数（延べ件数）

区 分		合計(延)
総合相談支援	介護保険制度や認定に関すること	984
	介護サービスの利用や介護方法等に関すること	1987
	入院・入所・退院・退所に関すること	1119
	医療に関すること	472
	認知症に関すること	389
	独居高齢者の安否に関すること	287
	経済面や住居に関すること	777
	家族関係に関すること	88
	住宅改修に関すること	69
	介護保険外のサービスに関すること	406
	市のサービス調査（実態把握）	27
	その他（※具体的内容を下欄に記入する）	71
権利擁護	成年後見制度に関すること	148
	高齢者虐待に関すること	80
	消費者被害の防止	1
	困難事例への対応	94
	その他（DV防止・対応）	5
合 計		7004

#### ③窓口時間外の緊急対応件数

区分		徘徊	虐待	救急	安否確認	その他	合計
対応件数	実件数	0	0	6	0	0	6
	延件数	0	0	8	0	0	8

#### ④成年後見制度及び日常生活自立支援事業の利用に至った件数

区分	成年後見制度	日常生活自立支援事業
件数	4	0

#### ⑤困難事例対応状況

区分	新規	継続	合計
報告件数	5	40	45

・相談内容

認知症	経済的困窮	精神疾患	介入拒否	入退院(所)	生活支援	家族問題等	サービス調整	受診支援	その他
0	1	1	0	2	0	1	0	0	1

・相談経路

民生委員	介護支援専門員	介護サービス事業所	市関係者	医療機関	本人	子・子の配偶者	配偶者	親族	県関係機関	その他
0	1	0	1	0	0	1	0	1	0	1

4) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

①介護支援専門員に対する個別支援の実施状況

区 分	実施件数
ケアマネジメント支援	335
困難事例への後方支援	820
介護支援専門員の質の向上のための支援(研修・会議など)	0
担当者会議開催支援	6
介護支援専門員同士のネットワーク構築支援	0
医療機関を含めた関係機関との連携体制構築支援	0
社会資源の紹介・制度説明	7
居宅サービス事業者等への研修等の働きかけ	0
その他	0
合 計	1168

②介護支援専門員交流会、研修会等の開催

日にち	名称	場所	参加人数

5) 重層的支援体制整備事業

①包括的相談支援業務 相談受理件数(当該年度における新規の実件数)

区 分	電話等	訪問	来所	その他(会議等)	合計(実件数)
包括的相談支援	28	3	6	0	37

②包括的相談支援業務 相談内容と件数(延べ件数・前月以前からの継続分も含む)

区 分	電話等	訪問	来所	その他	合計
病気	15	4	1	0	20
自殺企図	0	0	0	0	0
経済的困窮	33	31	2	0	66
就職定着困難	0	0	0	0	0
介護	31	5	0	0	36
中卒・高校中退	0	0	0	0	0
刑余者	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	1
けが	2	1	0	0	3
メンタルヘルス(うつ・不眠・依存症・適応障害など)	33	2	1	0	36
多重・過重債務	0	0	0	0	0
生活習慣の乱れ	0	0	0	0	0
子育て	2	0	0	0	2
ひとり親	0	0	1	0	1
コミュニケーションが苦手	2	1	0	0	3

障害（手帳有）	244	56	6	1	307
住まい不安定	35	8	0	0	43
家計管理の課題	0	0	0	0	0
社会的孤立（ニート・ひきこもり等含む）	8	8	0	0	16
不登校	0	0	0	0	0
DV・虐待	1	0	0	0	1
本人の能力の課題（識字・言語・理解等）	16	1	0	0	17
障害（疑い）	187	48	5	1	241
ホームレス	1	0	0	0	1
就職活動困難	0	0	0	0	0
家族関係・家族の問題	9	1	0	0	10
非行	0	0	0	0	0
外国籍	0	0	0	0	0
被災	0	0	0	0	0
合 計	505	123	12	2	804

## 6) その他

### ①地域ケア会議の実施状況

区分	日にち
個別	—
圏域	—

### ②会議・研修等参加及び開催状況

日にち	名称
2022/4/19	市内包括連絡会議
2022/4/19	加茂地区民生委員児童委員協議会
2022/4/19	南総地区民生委員児童委員協議会
2022/4/21	市認協
2022/5/10	市内包括連絡会議
2022/5/13	ケアマネ連絡会総会
2022/5/17	加茂地区民生委員児童委員協議会
2022/5/29	平三地区小域福祉ネットワーク総会
2022/5/29	南総地区社会福祉協議会総会
2022/6/20	千葉県精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業
2022/6/21	市内包括連絡会議
2022/6/24	ちーき会
2022/7/12	加茂地区民生委員児童委員協議会
2022/7/13	高滝地区小域福祉ネットワーク会議
2022/7/15	市原園 令和4年度地域密着型推進会議
2022/7/19	市内包括連絡会議
2022/7/22	ちーき会
2022/7/25	在宅医療・介護連携推進会議
2022/7/26	市原市認知症対策連絡協議会
2022/7/28	緩和ケア後援会 がん疼痛治療の秘訣
2022/8/1	市原市地域包括支援センター運営協議会
2022/8/16	市内包括連絡会議
2022/9/2	千葉県循環器病センター地域連携支援研修会
2022/9/8, 24, 25	コミュニティソーシャルワーカー研修
2022/9/20	市内包括連絡会議

2022/9/21	南総地区第二層協議会
2022/9/21	在宅医療・介護連携推進会議 ACP部会会議
2022/9/24	平三地区小域福祉ネットワーク見守り部会会議
2022/9/27	南総地区社会福祉協議会研修会
2022/9/29	ちーき会
2022/10/7	千葉県循環器病センター地域連携支援研修会
2022/10/17	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの研修
2022/10/20	高齢者の眠り問題
2022/10/20	市認知症対策連絡協議会
2022/10/27	ちーき会
2022/11/8	アウトリーチ支援のためのセミナー
2022/11/13	寺谷安心訪問員座談会
2022/11/13	認知症安心フェスタ
2022/11/15	市内包括連絡会議
2022/11/18	ちーき会
2022/11/19	平三地区小域福祉ネットワーク見守り部会会議
2022/11/22	南総地区第二層協議体会議
2022/11/25	銀杏の杜研修会
2022/11/26	鶴舞看護専門学校実習指導者研修
2022/11/29	ケアマネ連絡会研修
2022/12/5	高齢者虐待防止対策研修（現任職員研修）
2022/12/6	アウトリーチ支援のためのセミナー
2022/12/13	高齢者虐待防止対策研修（現任職員研修）
2022/12/16	千葉県循環器病センター地域連携
2022/12/17	コミュニティソーシャルワーカー養成研修
2022/12/18	コミュニティソーシャルワーカー養成研修
2022/12/19	高齢者虐待防止対策研修（現任職員研修）
2022/12/20	市内包括連絡会議
2022/12/21	福祉総合相談センター連絡会議
2022/12/23	主任ケアマネジャー交流会
2023/1/13	令和4年度市原市地域福祉関係者合同研修会
2023/1/16	精神障害者の地域移行・定着関係職員に対する研修
2023/1/17	加茂地区民生委員児童委員協議会
2023/1/17	市内包括連絡会議
2023/1/19	市原市認知症対策連絡協議会
2023/1/20	保健師交流会
2023/1/24	南総地区第二層協議会
2023/1/28	平三地区小域福祉ネットワーク見守り部会会議
2023/2/2	キャラバンメイト養成研修
2023/2/6	コミュニティソーシャルワーカーフォローアップ研修
2023/2/13	南市原地域医療懇談会
2023/2/14	加茂民児協
2023/2/18	白鳥地区小域福祉ネットワークフォローアップ研修
2023/2/21	市内包括連絡会議
2023/2/21	障害者支援協議会権利擁護部会研修
2023/2/24	相談援助職のためのそこが知りたい勉強会
2023/2/25	鶴舞地区小域福祉ネットワークフォローアップ研修
2023/3/4	令和4年度地域包括支援センター職員向け研修
2023/3/7	令和4年度千葉県高齢者虐待防止対策研修（専門）
2023/3/7	認知症疾患医療センター研修

2023/3/10	就労促進ミニフォーラム
2023/3/11	令和4年度 第4回平三地区見守り部会
2023/3/13	令和4年 多分野連携フォローアップ研修 (第2回)
2023/3/14	加茂地区民生委員児童委員協議会
2023/3/15	令和4年認知症初期集中支援チームフォローアップ研修会
2023/3/17	鶴舞看護専門学校講師会議
2023/3/23	包括運営会議
2023/3/25	牛久地区小域福祉ネットワークフォローアップ研修
2023/3/28	市内包括連絡会議